

## 2018年度(平成30年度) 関西創価中学校 学校評価

### 【教育基本目標】

<p>〈1〉 読書と語学に力点を置き、主体的に学ぶ生徒の育成</p> <p>〈2〉 感謝の心を大切にし、励ましを第一とする生徒の育成</p> <p>〈3〉 創立者に学び、世界市民を目指す生徒の育成</p>	<p>【可能性の育成】</p> <p>【心の育成】</p> <p>【世界市民の育成】</p>
--	--

### 【中期的目標】

<p><b>〔Ⅰ〕 教育理念に基づく「人間教育」の推進</b></p> <p>(1)読書と語学に力点を置き、主体的に学ぶ生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学びの励みとして、グローバルパスポートを作成し、活用を図る</li> <li>・英語科、数学科で策定したコアプログラムを進め、全生徒が卒業時に、英語検定3級、数学検定3級に合格する力を身につける。他の教科においても策定を進める</li> <li>・毎週木曜日にサポートプログラムを実施する</li> <li>・学級文庫を生徒の声を活かしながら充実させる</li> <li>・年3回のビブリオバトルで、中学チャンプ本を決めるまで取り組みを充実させる</li> </ul> <p>(2)感謝の心を大切にし、励ましを第一とする生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す力、聞く力、他者とつながる力を育む、「1分間スピーチ」を推進する</li> <li>・生徒会活動や三大行事の取り組みと連動し、生徒主体の「全校対話会」を学期に1回行う</li> </ul> <p>(3)創立者に学び、世界市民を目指す生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Future」「創立者とともに」のさらなる活用で、道徳教育の充実を図る</li> <li>・学期に1回、生徒との個人面談を行い、生徒理解に努めるとともに、「創価の心」を育む</li> </ul> <p><b>〔Ⅱ〕 教育力向上への挑戦</b></p> <p>(1)全教員が各自のテーマに沿った研修に1回以上参加し、その内容を共有していく取り組みを進める</p> <p>(2)生徒ならびに保護者へのアンケート項目を年度当初に全教員で作成し、評価指標以上の達成をめざす</p> <p>(3)「オープンクラスマンス」を行い、互いの授業を見学し、感想・意見を交換し合う</p> <p>(4)「主体的・対話的で深い学びの実現」を研究テーマに掲げ、全校で取り組む</p> <p>(5)道徳科への移行の準備を進める</p> <p><b>〔Ⅲ〕 安全・安心への取り組み</b></p> <p>(1)ネットセミナー、防犯セミナーを実施し、SNS利用に潜む危険性を理解させるとともに、使用時のルールやマナーを徹底する</p> <p>(2)通学路の安全対策を強化し無事故を徹底するとともに、「学園生の誇り」を持った行動を常に確認し、登下校のマナーを向上させる</p>
--

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
<p><b>【生徒に対する取り組み】</b></p> <p>授業アンケートの結果は、全項目において昨年度の数値を超えることができた。生徒の満足度も少しではあるが向上したとみられる。生徒の意欲をさらに向上させられる授業への取り組みに挑戦したい。</p> <p>学習支援の費用対効果については、よく検証してあり方を検討する必要がある。また、サポートプログラムについては目的や運用など充実しているとはいえず、まだまだ課題が多いと感じられる。</p> <p><b>【保護者に対する取り組み】</b></p> <p>北部地震などの災害のために、授業公開や保護者会など開催できず、学校の様子を見ていただく機会が例年よりも少なくなった。行事の参加については、おおむね満足していただいたように思われる。</p> <p>保護者ポータルサイト開設初年度であったが、保護者との情報共有は向上していると思われる。また、一斉メールサービスや登下校通知システムに関しては、保護者も満足している。</p> <p><b>【教員に対する取り組み】</b></p> <p>教員研修については、なかなか時間を見いだせず、参加率は伸び悩んだ。また、Webによる研修を受けられる環境をつくったが、視聴率はあまりよくなかった。更なる校内研修の在り方を検討する必要がある。</p> <p>教員同士で授業を公開し合うオープンクラスマンスを設けて、教科の異なるパディを設定し、授業改革への意見交換をする機会を設けた。授業を見直す機会となり、授業力向上へつなげることができたと思われる。</p>	<p>ビブリオバトルについて、取り組み自体は嬉しいが、本の種類が多過ぎるので、生徒が取り組みやすくなるようなサポートが多ければよいと思う。</p> <p>英検を受ける際、学校の授業で習う以上のレベルの級を受けるので、合格に向けたサポート・アドバイスや励みになるきっかけ作りをお願いしたい。</p> <p>学校でスクールカウンセラーと連携がとれるサポートがあるとよい。</p> <p>行事も多く、忙しい様子で、勉強面が心配になる。家庭学習の習慣をつけることや長期的な課題の取り組み方など、勉強に対して自信を持てる教育であって欲しい。</p> <p>登下校時の生徒マナーに関する残念な声も耳に入ってきている。また、学園生が挨拶をあまりしなくなったように感じられる。</p> <p>学級文庫とグローバルパスポートの活用が上手くかみ合ってくれば、また面白くなるのではないかと思う。マイル付与の制度設計についても、抜本的に見直しを考えていけると良いのではないかとと思う。</p> <p>LINEやインスタグラムなどのSNS利用は、保護者にとって気になる。学校でも利用のしかたについて指導していただけたらありがたい。</p>

【本年度の取り組みについて計画・実践・評価指標・自己評価】

※達成度は、自己評価アンケートにおける達成度が「当てはまる」「大体当てはまる」の割合を表す。

中期的目標	今年度の重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
教育理念に基づく「人間教育」の推進	(1)【可能性の育成】 ア. 生徒の「学びへの励み」を推進	・グローバルパスポートを作成し、読書や資格試験、コンテスト等の取り組みを推進する。	・グローバルパスポートの活用推進において、6割以上の達成度を目指す。	・教員の61%が活用の推進に関して達成度を感じていた。2年目の取り組みとなり、生徒の取り組む意欲も向上しているようである。
	イ. 教科における「コアプログラム」の実践	・コアプログラムを策定し、実践する。	・コアプログラム策定・実践において、6割以上の達成度を目指す。	・全教員の評価は67%にとどまった。昨年とほぼ同じであった。さらに継続し、全教科での取り組みを推進する。
	ウ. 読書の習慣化	・学級文庫の充実を図り、ビブリオバトルを学期に1回実施する。	・学級文庫の充実と読書推進において、6割以上の達成度を目指す。	・ビブリオバトルの取り組みを生かした読書推進では100%の達成度があった。学級文庫の充実は45%から55%に向上した。
	(2)【心の育成】 ア. 話す力、聞く力、他者とつながる力を育む	・「1分間スピーチ」を毎日実施し、話す・聞く・励ますの姿勢を身につける。	・全クラスが「1分間スピーチ」を実施し、3つの力の向上を図る。	・全クラスが1年間を通して「1分間スピーチ」を行い、93%の教員が3つの力を向上させることができたと感じている。更なる継続・向上を目指す。
	イ. 特別活動の充実	・生徒会活動や三大行事と連動し、生徒主体の「全校対話会」を学期に1回実施する。	・全校対話会を通じて主体的な学びの場を設ける。	・全校対話会を年3回実施できたが、達成度は88%にとどまり、昨年を下回った。主体的な学びの場を更に充実させたい。
	ウ. 心身ともの健康	・毎日の健康観察と定期的なケースカンファレンスを実践する。	・健康観察ならびにケースカンファレンスを定期的に実施する。	・健康観察とケースカンファレンスについて、ともに100%の取り組みを行うことができ、生徒の情報共有ができた。
	(3)【世界市民の育成】 ア. 創立精神学習プログラムの充実	・「創立者とともに」「Future」を活用する。	・特別授業での活用において、6割以上の達成度を目指す。	・活用においては100%の達成度に到達した。今後、道徳の教科化と合わせて、計画的な活用を推進する。
	イ. 創価の心を育む	・生徒との定期的な個人懇談を行い、生徒理解に努めるとともに「創価」の精神を育てる。	・定期的な個人懇談において、6割以上の達成度を目指す。	・83%の達成度となり、昨年度より2割増しの成果となった。時間の工夫をし、生徒一人一人に合わせて心の育成に取り組む。
	教育力向上への挑戦	(1) 授業力向上 ア. 「主体的・対話的で深い学び」のテーマに基づいた授業の実践	・研究授業を実施し、全校で検討会を実施する。	・公開授業ならびに検討会の実施において、6割以上の達成度を目指す。
イ. 研修の推進		・外部研修への参加推進と校内研修の充実に取り組む。	・外部研修への参加ならびに校内研修の充実において、6割以上の達成度を目指す。	・外部研修の参加、Web研修の視聴など、40%の達成度にとどまった。研修の取り組み方に工夫をして、機会を増やしていきたい。
ウ. 授業改革への挑戦		・公開授業を実施し、教科を超えた意見交換を行う。	・公開授業と通じて、授業改革の実践において、6割以上の達成度を目指す。	・授業公開を通じて授業改革への取り組みについて、89%の達成度を得た。
	(2) 評価 アンケートの充実	・生徒ならびに保護者へのアンケートを実施する。	・生徒への授業アンケートで満足度向上において、6割以上の達成度を目指す。	・生徒の満足度の達成度は81%となり、昨年に及ばなかった。さらなる工夫を検討する。
安全・安心の実践	(1) 防犯セミナーの実施	・各種セミナーを実施し、ルールやマナーの徹底を図る。	・各種取り組みにおいて、6割以上の達成度を目指す。	・生徒への徹底度は83%の達成度であった。指導の在り方について、更なる工夫を検討していく。
	(2) 登下校マナーの徹底	・定期的な登下校指導を実施する。	・登下校指導の徹底において、6割以上の達成度を目指す。	・毎月の登下校指導は実施できたが、生徒への徹底については、67%と下がってしまった。

## 【まとめと改善点】

自己評価と学校関係者評価を踏まえ、今後の重点的な目標・指導計画・改善方策および学校運営のあり方について、以下にまとめた。

### 1. 今後、重点的に取り組む目標・計画

学校教育目標においては、PDCAの観点より生徒ならびに保護者の声を反映した見直しを行い、さらなる生徒の健全な育成のため、より具体的な教育目標を掲げていく。

目標に示した各項目については、なお一層、その成果を上げるための計画および具体的な改善方法を検討するとともに、新たに策定した「育てたい学園生像」を中心に据え、全教員が一体となって更なる学校変革を推進していく。

#### ① 教員の資質向上

教員の教育力向上のために人材育成の研修体制を整え、全教員が各自のテーマに沿った研究を進める。校内においても青年研修、生徒指導研修、生徒支援研修など定期的を開催する。また、公開授業や研修に役立つ総合情報ウェブサイトを導入し、個々の研修の機会拡大と充実を図る。

#### ② 授業充実

生徒の主体性・積極性・創造力等を培うため「主体的・対話的で深い学び」の実践を推し進め、研修やセミナーへの積極的な参加、研究授業の実施、公開授業の取り組みなどを通じて、教員間に「授業力向上」の気風を定着させることを目指す。

#### ③ 読書教育の充実

「子供の読書活動優秀実践校」として、生徒全員が積極的に読書へ取り組めるよう一層の工夫をし、ビブリオバトルも継続して開催する。

また、授業での図書館の利用を積極的に進め、手軽に本に親しめるよう学級文庫の更なる充実を図る。

#### ④ 創立精神学習の充実

創価教育の基本となる創立精神を学ぶため、アーカイブ資料を授業で活用できるよう推進する。また、行事の取り組みを通じて、心の育成を更に推進し、実行力・実践力の向上に努める。

#### ⑤ 生徒の評価活動の充実

生徒の「学び」への自発的な取り組みを進めるエンジンとして、「グローバルパスポート」の活用を一層進める。また、一人一人が「学び」の分野拡大に積極的に取り組めるような環境作りを推進する。さらに、主体的な生徒会活動を推進し、生徒による振り返り活動を充実させる。

### 2. 今後の学校運営のあり方

「最大の教育環境は教師自身である」とは「創価教育の精神」であり、教員の資質向上こそが「学校教育力」の基礎と言える。

本校では創立精神や教育方針を根幹に据えつつ、生徒・保護者のニーズに応える教育活動を展開していきたい。そのためには、保護者ならびに学校を支えてくださっている関係者の方々による評価を謙虚に受け止め、常に改善に努めていく。

また、教育内容の充実を一層図るとともに、新たに策定した「育てたい学園生像」に即して学校運営を見直していく。

更に教員研修への参加を推奨し、教員の資質向上に努め、学校全体の教育力向上に一層努めていきたい。